

医学系研究の情報公開

2024年6月5日

2024年度の学生定期健康診断（以下、健康診断）において「5類移行後の新型コロナウイルス感染症に対する大学生の意識調査」にご協力いただいた旦野原キャンパスの学生の皆様へ

大分大学保健管理センター（以下、保健管理センター）では、以下の医学系研究を実施します。本研究は、学生の皆様から提出いただいたアンケート調査の内容を使用します。このような研究は文部科学省・厚生労働省の定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」により、当該研究についての情報を公開することが求められています。

【研究課題名】

5類移行後の新型コロナウイルス感染症に対する大学生の意識調査

【研究組織】

研究責任者：大分大学保健管理センター教授 工藤 欣邦

研究分担者：大分大学保健管理センター保健師 河野 香奈江

【研究期間】

2024年6月5日～2025年6月30日

【研究の目的について】

新型コロナウイルス感染症（以下、COVID-19）の感染症法の位置付けについては、2023年5月8日から季節性インフルエンザ等と同じ「5類」への移行が政府決定されました。

しかし、5類に移行しても、COVID-19の病原性や感染力に変わりはありません。大学生は自由度や活動性が高く、COVID-19に罹患する危険性の高い集団であり、いったん、クラスターが発生すると、学生生活や大学の教育体制に多大な影響を及ぼす可能性があるため、大学としては引き続き、COVID-19に罹患した学生に対する行動指針を大学の公式ホームページ上に提示しています。

今年に入り、国内ではJN.1という新たな変異株が流行し、本学においても連日、一定数の感染者を認めています。5類移行後のCOVID-19に対する大学生の意識調査はほとんど実施できておらず、現時点においても各大学からの報告も少ない状況です。今後、学生の皆さんに対して効果的な教育啓発活動を実施するためには、5類移行後、約1年が経過した現時点におけるCOVID-19に対する意識調査を行い、詳細な状況を把握しておくことが重要と考え、本研究を計画するに至りました。

【使用させていただく情報について】

且野原キャンパスでは、保健管理センターにおいて2024年4月11日から5月15日までの期間、学生定期健康診断を実施しました。その際、Google フォームまたは紙媒体を利用して「5類移行後の新型コロナウイルス感染症に対する意識調査」と題したアンケート調査を実施しました。今回、その調査内容を研究へ応用させていただきたいと思います。アンケート調査の内容を研究に応用させていただくことは、大分大学保健管理センター研究倫理審査委員会において外部委員も交えて審査され、承認されています。調査内容は、匿名化したうえで管理しますので、受診された方のプライバシーは厳密に守られます。当然のことながら、個人情報保護法などの法律を遵守いたします。

本研究で使用するデータの保存は、結果公表後10年間とし、研究終了後は、情報が復元できないよう完全に削除します。また、本研究で収集したデータを外部の機関へ提供することはありません。

【費用負担等について】

本研究を実施するに当たって、研究対象者の費用負担はありません。

【研究資金および利益相反について】

本研究は公的な資金である大分大学保健管理センターの基盤研究経費（研究費）で行われ、特定の企業からの資金は一切使いません。

【研究の参加等について】

アンケート調査の内容を本研究に提供するかしないかは皆様の自由です。本研究に使用してほしくない方は、遠慮なくお知らせください。その場合、その方の調査内容は研究対象から除外します。また、ご協力いただけない場合でも、その方の不利益になることは一切ありません。なお、研究結果は教育啓発活動や学術目的（学会発表や論文）に使用することになりますが、発表後に参加拒否を表明された場合、すでに発表したものを取り下げることはできません。アンケート調査の内容を研究のために使用してほしくない場合、その他、本研究に関して質問等がありましたら、下記まで申し出てください。

【研究対象者等が研究に係る相談を行うことができる窓口】

〒870-1192 大分市大字且野原 700 番地

大分大学保健管理センター教授 工藤 欣邦（くどう よしくに）

連絡先電話番号 097-554-7476（平日の8:30～17:15）